

ROOKIES の熱きハートのみなさんへ



児童養護施設 名古屋養育院
院長 佐藤 忠彦

最近「じゅあね！」と不安と期待が入り混じった表情で、ひとりの女の子が養育院を旅立っていきました。旅先は「自立援助ホーム Ohana の家」。

味岡施設長はじめ職員の方々、そして彼女を身近で支えてくれるホームの友だちに、自立援助のバトンを渡すことになりました。

この道を進むまで前途多難で、数々のドラマがありました。

高校1年で中退し、いろんな選択肢（定時制高校含め）を相談見学しました。

しかし就学ではなく就労意志が強く、高井代表の格別なご配慮により、(株) Garat の体験を経て、就労体験をさせていただくことになりました。

その後の就労先であるヘアサロンアサヒの朝日代表はじめ温かいご家族のみなさんからスタートし、(株) V-HANDS の岩井さん、(株) EAT の土井社長の店長及び従業員の皆さまのご理解ご声援があったからこそ、心より感謝申し上げます。

期間の短さはありませんでしたが、「笑顔が素敵！」「一生懸命がんばっているね」と評価されていたのも事実です。彼女を支えるチームの輪が確かにあった瞬間でした。

本当にありがとうございました。

できれば何かありました時は、またお力添えをいただければ幸いです。

名古屋養育院は、歴史ある旧東海道沿いに立地しています。

本体施設に53名、学区が同じ地域小規模児童養護施設が2カ所、幼児から高校生まで65名が生活しています。自立への道は、ひとりひとり既に始まっています。

大切にしていることは、子どもたちの成長に合わせて、

それらの力を育むために様々なチャレンジや失敗の出来得る環境づくりを行い続けること。

子どもに問い直す時は、子どもの耳ではなく、脳に届く話に心掛けること。

そして、子どもたちは、“地域の方の力を借りてみんなで育む”の3点です。

ROOKIES協力企業主の方々は、上記1～3点目を実践化されている事に心より

お礼申し上げます。これからもお互い熱きハートで、社会的自立に向けスクラムを組み続けてください。

よろしくお願い致します。

